

1 本事業について

■ 目的

- ・ 中学校等の体育授業において、我が国の伝統文化である武道等の指導を充実するために、多様な武道種目の指導内容や指導方法等の工夫について実践研究を行うとともに、その支援体制の強化を行う。

■ 内容

多様な武道種目の体育授業の指導内容や指導方法等の工夫についての実践研究

- ・ 柔道、剣道又は相撲に加えて、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法又は銃剣道の中から1種目以上を選択して、複数種目の武道を指導する。
- ・ 多様な武道種目を男女共習で学習する体育授業の実践において、外部指導者等を積極的に活用する。

2 武道推進モデル校(4校)によるそれぞれの取組み

◆ 高松市立塩江中学校 (少林寺拳法)

全校生 4 時間実施

	1	2	3	4
種目	少林寺拳法			
	あいさつ、健康観察、本時のねらいの確認、準備運動			
学習の流れ	特性	基本動作 ・ 順突 ・ 逆突 ・ 順蹴 ・ 逆蹴	少林寺拳法特徴 天地拳第一系	単独演舞 グループ発表
	歴史			
	礼法指導 基本動作			
	学習の振り返り、あいさつ			



◆ 高松市立香南中学校 (なぎなた)

2 年生 6 時間実施

	1	2	3	4	5	6
種目	なぎなた					
	挨拶、本時のねらいの確認、なぎなた体操					
学習の流れ	なぎなたの 特性や歴史	前時の復習				
	礼法指導	体さばき	八相の構え	面打ち すね打ち	課題別練習	
	なぎなたの操法	上下振り	側面打ち すね打ち	打ち返し前進 打ち返し後退	受け構え (応じ)	
	基本動作	面打ち	打ち返しの映像 視聴と実践	相対での打ち返し	相対での打ち 返し発表会	
	学習のまとめ、挨拶					



◆ 善通寺市立東中学校 (銃剣道・相撲)

2 年生 8 時間実施

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	銃剣道				相撲			
	挨拶、健康観察、本時のねらいの確認、準備運動							
学習の流れ	礼法の学習	基本動作の学習		評価	礼法の学習	基本動作の学習		評価
		型の学習				基本技能の学習		
	整理運動、学習の振り返り、挨拶							



◆ 善通寺市立西中学校 (銃剣道・相撲)

2 年生 8 時間実施

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	銃剣道				相撲			
	挨拶、健康観察、本時のねらいの確認、準備運動							
学習の流れ	礼法の学習	基本動作の学習		評価	礼法の学習	基本動作の学習		評価
		型の学習				基本技能の学習		
	整理運動、学習の振り返り、挨拶							



指導の工夫

- 小規模である特徴を活かし、異学年で協働的に学ぶことができるようにした。
- グループ活動を取り入れ、コミュニケーション能力や協調性等を育成することで、技能以外の社会的スキルを身に付けることにつながった。
- なぎなたを見たことがない、触れたことがない生徒が多いことが想定されたため、外部指導者の方に、道着を着て打ち返しの演舞を実演してもらった。生徒は、有段者の洗練された動きの美しさやなぎなたを振る速さ、なぎなたが空を切る音などを肌で感じることで、学習への意欲を高めることができた。
- 1年時には柔道の授業を履修しており、武道への関心はあったが、銃剣道や相撲への認知が低かったため、授業前に映像で確認し、それぞれの種目に対してイメージを持って取り組んだ。
- 銃剣道7名、相撲3名の指導者による充実した指導体制を生かし、複数グループに分かれて活動することで、少人数での丁寧な指導ができるようにした。



成果

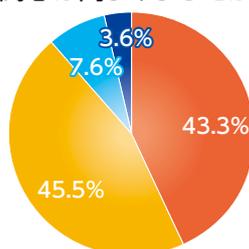
- 外部指導者による師範演技を見たり、指導者の動きを模倣する活動を取り入れたりしたことで、初めての運動についても、見通しをもって意欲的に取り組むことができた。
- 基本動作から段階的に学ぶことで、生徒が「できた」という達成感を得られた。
- なぎなたと剣道における得物の長さの違いによって生じる「間合い」の違いを学習のテーマに設定したことで、礼法や形の一つ一つに合理的な理由があることを、生徒が理解することができた。
- 全員が初めて経験する種目だったため、経験や技能の差がなく、意見交換やアドバイスをしやすい環境が生まれた。そのことが、一人一人が積極的な活動につながり、コミュニケーション能力の向上が見られた。
- 最初は「相撲や銃剣道をするのが怖い」という意見も聞こえていたが、「実際に行ってみると楽しかった」や「また、したい」などの意見があり、相撲や銃剣道に対する見方・考え方が変化した。
- 外部指導者による実際の力強く迫力ある試合を見たことで、銃剣道への憧れや興味関心、もっと上手になりたいという向上心が高まった。

生徒からの声

- 大きな声を出しながら、体を動かせることができて楽しかった。(少林寺拳法)
- 少林寺拳法の「力愛不二」という話が印象に残った。人にやさしくできるようになりたい。(少林寺拳法)
- 間合いを意識して打ち返しの演武を行うことができた。(なぎなた)
- 実生活でも「間合い」を意識してコミュニケーションをしていきたい。(なぎなた)
- はじめは恥ずかしかったが、練習をしていくにつれて楽しさが分かった。(相撲)
- 外部指導者に立ち合いを挑んだ。(相撲)
- 礼法を学校生活でも生かしていきたい。(銃剣道)

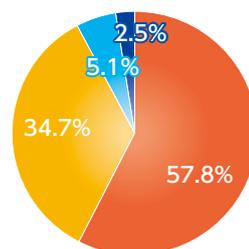
生徒の取り組み方や意識の変容

1 多様な武道(※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道)を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



■ 高まった
■ やや高まった
■ あまり高まらなかった
■ 高まらなかった

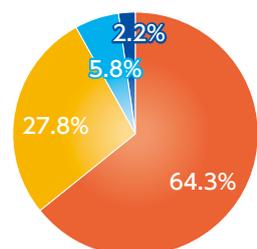
2 多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



■ 深まった
■ やや深まった
■ あまり深まらなかった
■ 深まらなかった

3 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。

(4校合計・有効回答277名)



■ 楽しい
■ やや楽しい
■ あまり楽しくない
■ 楽しくない